

地理歴史

(世界史)

(2025)

- (注意事項)
- 1 問題文は23ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次のA～Eの図版を見て、それに続く問1～10に答えよ。

A



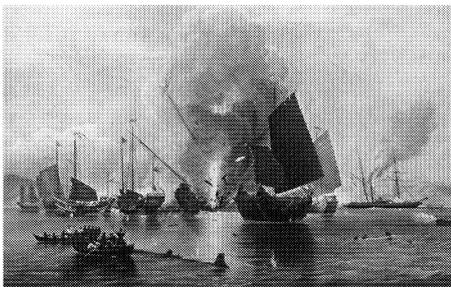
B



C



D



E



A・B：ユニフォトプレス提供

AとBは著作権の都合により、類似の写真と差し替えています。

問1 Aは東南アジアで出土した遺物である。これに関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

1

- ① アンコールに都をおいた王権が権力の象徴として用いた鉄器である。
- ② 出土地はベトナム北部に限定されている。
- ③ グプタ朝のもとで盛んに製作された陶器である。
- ④ ドンソン文化を特徴づける青銅器である。
- ⑤ ローマから海の道を経てもたらされた。

問2 Aの遺物の名称としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

2

- ① オストラコン
- ② 蟻鼻銭
- ③ 黒陶
- ④ 石経
- ⑤ ストゥーパ
- ⑥ 銅鼓

問3 Bはある古代文明を代表する宮殿址に描かれていた壁画を復元したものである。これに関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

3

- ① この宮殿には城壁がなかった。
- ② 海洋民族フェニキア人がこの宮殿を造営した。
- ③ この文明はミケーネ文明の影響を受けて成立した。
- ④ この文明の担い手は鉄器製作を独占して繁栄した。
- ⑤ この王国は鉄製の武器と戦車・騎兵隊などを用いて周辺各地を征服した。

問4 Bの宮殿址に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

4

ア：イギリスの考古学者エヴァンズが発掘した。

イ：『死者の書』が出土した。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問5 Cの絵画に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

5

- ① ナポレオンは戴冠式の後も、ハプスブルク家の皇女ジョゼフィーヌとの再婚など、個人権力の強化を目指した。
- ② ナポレオンは、国民投票により皇帝に即位した。
- ③ ナポレオンの背後に座っているのは、主催者の神聖ローマ皇帝である。
- ④ この絵画の作者は、フランス古典主義を代表するドラクロワである。
- ⑤ ナポレオン即位時のローマ教皇は、レオ3世である。

問6 Cの絵画に関して、実際の戴冠式より後に起こった出来事を次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

6

- ① テルミドールの反動
- ② 政教協約（コンコルダート）によるカトリックの復権
- ③ アミアンの和約の締結
- ④ 第1回対仏大同盟の結成
- ⑤ ライン同盟（ライン連邦）の結成
- ⑥ 統領政府の樹立

問7 Dの絵画は1840年に起こった戦争での場面を描いている。これに関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

7

- ① イギリス東インド会社の汽帆船が清軍のダウ船を砲撃している。
- ② この戦争で清は敗北を認め、北京条約を結んで香港島を割譲するなどした。
- ③ この戦争はアロー戦争とも呼ばれる。
- ④ 林則徐によるアヘンの没収と廃棄がこの戦争を引き起こす口実となった。
- ⑤ この戦争の後に、清は地丁銀制を導入した。

問8 Dの戦争に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

8

ア：この戦争後、清はアメリカ合衆国と黄埔条約を結んだ。

イ：円明園の離宮はこの戦争で略奪・破壊された。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問9 Eの写真は、1930年にインドで行われたある運動の場面である。これに関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 9

- ① 塩の専売制と塩への課税を植民地支配の象徴ととらえ、抵抗を示すために行われた。
- ② 政府がイギリスの会社にタバコの独占利権を譲渡したことに反対して行われた。
- ③ この運動を組織化し指導したのはティラクである。
- ④ この運動が始まったアムリットサルで、イギリス軍は集まった民衆に発砲した。
- ⑤ この運動の翌年には、急進派のジンナーらが主張する完全独立（プールナ=スワラージ）の要求が決議された。

問10 Eの運動に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 10

ア：この運動を受けてイギリスはロンドンにインドの様々な勢力を招集し、円卓会議を開いた。

イ：1935年インド統治法で、ようやくインドの完全独立が果たされた。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

II 次の文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

紀元前6世紀の末に 人の王を追放して共和政 (*res publica*) を樹立したローマにとって最大の社会問題は、パトリキとプレブスとの間に繰り広げられたいわゆる身分闘争であった。やがてそれは、ローマの対外進出と車の両輪のように密接に関連しながら展開していった。

紀元前5世紀の初頭、貧民の借財問題と奴隷化に端を発したプレブスのローマ離脱事件(聖山事件)は、パトリキ側が の設置を承認してその場はひとまず解決した。以降、同世紀の半ばには、現在の法治国家にも陰に陽に影響を与えるローマ法の源となる初の成文法十二表法が制定され、前367年にはリキニウス=セクスティウス法が制定され、前3世紀前半のホルテンシウス法により、身分闘争は表向き終了した。⁽³⁾

前4世紀初頭、数世紀にも及ぶ抗争の末に、 人の都市ウェイイを征服して以降、ローマは合従連衡を重ねて半島内の都市国家や山岳民、そしてマグナ=グラエキアの諸都市国家をつぎつぎに従えていき、ついに前272年にタレントゥムを制圧して、イタリア半島の覇者となった。ローマはそこで巧妙な支配を行った。⁽⁴⁾

ローマが半島内に勢力を限定した農業国家であるかぎり、西地中海の一大商業国家で現在のチュニジアにあったカルタゴと利害が衝突することはなかった。いや、むしろ互いに交流を続けることで補完しあう関係が続いていた。しかし、メッセナをめぐる緊張から両者は友好関係を破棄し、戦端を開くこととなった。これがポエニ戦争である。海軍を創設してカルタゴに勝利したローマは、獲得したシケリアを皮切りに海外領土を属州とし、ローマから総督を派遣して過酷な統治を行った。エクイテス(騎士)と呼ばれる資本家階層が出現し、保守的な元老院議員層に比肩するようになった。⁽⁵⁾ 両者とも莫大な資産を背景に、ローマの中央政治を動かしていくようになった。こうした状況は、質実剛健を旨としていたローマ共和政の姿から大きく逸脱するばかりか、大きな社会変質をも促すものと認識された。

半島内の制圧、海外所領の拡大を軍事面で支えたのが、重装歩兵として従軍したローマ市民だった。武器を自弁する必要から当初はパトリキに限られていたが、やがて富裕化したプレブスが戦列に並ぶようになると、数で勝る彼らの政治的発言力を無視できなくなったパトリキが、譲歩を重ねて身分闘争が終了した。しかし、パトリキの牙城だった元老院から政権中枢が移動することはなく、富裕なプレブスを権力のなかに取り込むことで貴族共和政の要素は保たれたままであり、ギリシアのような徹底した民主政に移行することはなかった。征服戦争の長期化は中小農民の農事生活を破綻に追いやり、農地を手放した農民たちはローマ市に流入して家族ごと有力者のクリエンテス(庇護民)になるか、「パンと見世物」で扶養されるプロレタリア(無産市民)と化した。彼らの土地は元老院議員などの大資産家に買い取られ、 と呼ばれる大農場経営が始まった。

前2世紀の後半、農民の没落に危機感をいだいたグラックス兄弟は相次いで改革を断行しようとしたが、兄弟とその支持者は大土地所有層に虐殺ないし自殺に追い込まれて、改革は失敗に終わった。以降、有力政治家が武力で衝突を繰り返す「内乱の1世紀」の激動が始まった。前2世紀末には市民皆兵の原則も捨てられ、軍隊は有力な将軍が自らの庇護民に武具を与えた私兵で構成されるようになった。庇護民は自らのパトロンたる有力将軍の指揮下で出陣するばかりか、パトロンが政界の出世階段を登る際の票田にもなった。前91年にはイタリアの同盟市がローマ市民権を求めて戦争を起こし、さらに前73年には 率いる大反乱が席卷するなど、状況は混乱を極めた。

この「内乱の1世紀」を收拾したのが、ポンペイウス、カエサル、クラッススだった。彼らは結束して元老院勢力に対抗して政権を握り（第1回三頭政治）、それぞれの軍団を指揮して辺境での征服活動を続けた。しかし、⁽⁹⁾パルティア戦でクラッススが戦死すると、ガリア遠征で名声を上げるカエサルと、ヘレニズム世界を掃討して元老院に接近するポンペイウスが衝突した。カエサルはポンペイウスを打倒して独裁的な権力をふるい、さまざまな国制改革を断行した。しかし、元老院派がカエサルを暗殺したため、政局は大混乱に陥り、オクタウィアヌス、アントニウス、レピドゥスは元老院派を抑えながら事態の收拾に当たった（第2回三頭政治）。オクタウィアヌスがアントニウスとプトレマイオス朝のクレオパトラの連合軍を破り内乱は終わりを告げ、地中海を「我らの海」とし、⁽¹⁰⁾「パクス=ロマーナ（ローマの平和）」の時代が到来した。それは共和政の伝統を持つ元老院を無力化した事実上の君主が独裁的に統治する体制、ローマ帝政の成立であった。

問1 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① エトルリア
- ② ギリシア
- ③ ケルト
- ④ トロイア
- ⑤ ミケーネ

問2 2 に入る語の組合せとしてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

12

- ① コンスルと護民官
- ② コンスルと平民会
- ③ ノビレスとコンスル
- ④ ノビレスと護民官
- ⑤ ノビレスと平民会
- ⑥ 平民会と護民官

問3 下線部(3)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

13

- ① 公有地の占有を制限して、自作農の再建をはかった。
- ② 平民会の決議が元老院の承認なく国法となることが認められた。
- ③ コンスルのうち1名はプレブス出身者とするのが定められた。
- ④ 護民官がコンスルや元老院の決定に拒否権を行使できる規定が設けられた。
- ⑤ 慣習法が成文化され、パトリキが法知識を独占している状況が改善された。

問4 下線部(4)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

14

ア：征服した諸都市との間で、それぞれ内容の異なる個別の同盟関係を結んだ。

イ：分割統治によって、諸都市が結束してローマに反抗することを防ごうとした。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問5 下線部(5)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

15

- ① ギリシア人の植民市で、地中海交易を独占していた。
- ② ハンニバルはザマの戦いでローマ軍に壊滅的打撃を与えて勝利した。
- ③ 後に東ゴート人がこの地に建国した。
- ④ 東地中海を席卷した「海の民」が設立した植民市である。
- ⑤ 「アラブの春」のきっかけとなる民主化運動は、この都市遺跡のある国で起こった。

問6 下線部(6)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

16

ア：属州における徴税請負などで蓄財した。

イ：共和政末期以降の征服活動に騎兵として出動した。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問7 7に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

17

- ① アシエンダ
- ② エンクロージャー
- ③ エンコミエンダ
- ④ グーツヘルシャフト
- ⑤ テマ
- ⑥ ラティフンディア

問8 8 に入る語句としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

18

- ① 剣闘士のスパルタクス
- ② 剣闘士のスラ
- ③ 剣闘士のマリウス
- ④ 護民官のスパルタクス
- ⑤ 護民官のスラ
- ⑥ 護民官のマリウス

問9 下線部(9)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

19

- ① イラン系の遊牧民の国家で、アマルナを首都とした。
- ② セレウコス朝からメソポタミアを奪い、クテシフォンを建設した。
- ③ アム川上流域のギリシア人が独立して建国した。
- ④ ホスロー1世により滅ぼされた。
- ⑤ ゴロアスター教を国教とし『アヴェスター』が編纂された。

問10 下線部(10)に関する記述として誤っているものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

20

- ① ローマ風の都市が国境近辺にまで建設され、そのなかにはロンドン・パリ・ウィーンなど現在は首都となっているものも含まれている。
- ② 五賢帝と呼ばれる有能な皇帝が続き、帝国は繁栄をきわめた。
- ③ 帝国の領土が最大となった。
- ④ テトラルキアをしいて政治的秩序が安定した。
- ⑤ 総督ピラトにイエスが反逆者として訴えられ、十字架刑に処せられた。

III 次の文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

メッカの支配層クライシュ族につらなる家に生まれたムハンマドは、7世紀初頭にみずからを預言者と自覚し、イスラームを創始した。彼は一時メディナに移動してウンマと呼ばれる信者共同体を編成した後、メッカ復帰を果たした。⁽¹⁾

ムハンマドの死後、ウンマが彼の後継者カリフ（ハリーフ）を選出した時期を「正統カリフ時代」という。しかし、661年にムハンマドの従兄弟で娘婿でもあったアリーが暗殺されると、彼に対抗していたウマイヤ家のシリア総督ムアウィヤがカリフとして認められ、ここに王朝体制によるイスラーム国家が成立した。ウマイヤ朝はアラブ人支配層の下に、エジプト人やイラン人などの非アラブ改宗者と「啓典の民」たるユダヤ教徒とキリスト教徒を置き、彼らにジズヤ（人頭税）やハラージュ（土地税）などを課して財政基盤を確立し、さらなる征服活動に充てる仕組みを作り上げた。これはそれまでの部族制を基本としたアラブ社会からの大変革だった。ウマイヤ朝カリフを支持する多数派がスンナ派で、これに対抗する少数派がシア派⁽²⁾を形成し、シア派はさらに分派を生んでいくこととなる。

ウマイヤ朝はアラブ戦士による大征服活動の結果、単独のイスラーム国家としては最大の版図と「パックス=アラビカ（アラブの平和）」を現出した。征服地には と呼ばれる軍営都市が新たに建設された。そして、よりよい生活を求めてアラビア半島を脱出するアラブ人が多数移住したため、広範囲にわたる商業ネットワークが形成された。そこでは⁽⁴⁾税制などの面で不公平な支配を行ったとして、これに不満を持つアラブ人や改宗した非アラブ人の革命運動が始まり、750年にウマイヤ朝に代わってアッバース朝が成立した。生き残ったウマイヤ家のアブド=アッラフマーン1世はイベリア半島に逃れ、後ウマイヤ朝を興すことになる。

アッバース朝は8世紀末に出た第5代カリフのハールーン=アッラシードの時、メソポタミアの灌漑と東西貿易の活性化を背景に未曾有の繁栄を享受した。また、アラブ人の特権を廃止して、シャリーアに基づく統治が行われるようになったことから、アッバース朝の成立をもってイスラーム帝国の出現と呼ぶことがある。アッバース朝では、統治制度に関しては、長い伝統と経験を持ったイラン人を登用した官僚組織を整え、軍事力にはトルコ系諸民族をマムルークとして起用した。しかし、こうした勢力が自立化する傾向は、はやくもハールーン=アッラシードの死後には顕在化した。財政悪化のためアター（俸給）が各地に行き渡らなくなると、各地の総督（アミール）の自立化はさらに進み、なかでもイラン系の 朝は10世紀半ばに首都バグダードに進軍してカリフからシャリーア執行権すなわち政治の実権を奪い取り、「大アミール」の称号を獲得した。この王朝の下でアターの代わりに総督らに徴税権を授与するイクター制が施行され、アッバース帝国の政治的な分裂に拍車がかかるようになった。

こうした西アジアの動きに対抗したのが、北アフリカに興ったファーティマ朝である。この王朝はアッバース朝に対抗してカリフ位を主張したため、イベリア半島の後ウマイヤ朝も含め

3人のカリフが鼎立することとなった。この状況はファーティマ朝宰相のサラーフ=アッディーンがアイユーブ朝を樹立したことで解消された。彼は十字軍が建てたエルサレム王国を征服したことで知られる。アイユーブ朝はその後マムルーク朝に代わり、マムルーク朝は1517年にオスマン朝に征服される。

後ウマイヤ朝下のイベリア半島は、住民のほとんどがローマ帝国時代のローマ市民や西ゴート王国の住民の子孫だった。文化的に爛熟した後ウマイヤ朝の滅亡後には、カスティリヤ王国がトレドを制して首都とし、先進イスラーム文化を吸収した。そこでは、同様の文化的混交状況が現出したシチリア島のパレルモとならんで、ギリシア語文献やアラビア語文献からラテン語などへの翻訳活動が盛んに行われ、これが西ヨーロッパにおける12世紀ルネサンスの原動力となった。

11世紀前半にアラル海付近にいたセルジューク=トルコは、トゥグリル=ベクの時に西進し、5朝にとって代わった。彼はカリフからスルタンの称号を賦与され、この称号は以降スンナ派君主の称号となった。セルジューク朝はマリク=シャーの時、宰相ニザーム=アルムルクを得て全盛期を迎えたが、その後、内紛とムクター（イクター保有者）の割拠に有効な手を打つことができないまま滅亡した。

モンゴル勢力の西進はイスラーム世界を震撼させた。10の軍隊はアッバース朝を滅ぼし、西アジア世界の状況を一変させたが、イル=ハン国がその後イスラームに改宗したため、イスラーム世界の衰退といった事態にはいたらなかった。

イスラーム帝国を完成させたのはオスマン帝国といわれる。オスマン帝国は小アジアでの建国当初からもっぱらバルカン半島方面への征服活動を進め、メフメト2世の治世下にはコンスタンティノープルを征服して、ここを新都イスタンブルとした。

問1 下線部(1)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

21

ア：イスラーム暦の起点となったヒジュラは、ムハンマドのメッカ復帰を指す。

イ：メディナへの移動は、メッカの有力者たちからの迫害が要因である。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問2 下線部(2)に関する記述として誤っているものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

22

- ① シーア派は、アリーとその子孫のみがウンマをイマーム（指導者）として率いることができるとする。
- ② 北アフリカに興ったファーティマ朝はシーア派政権だった。
- ③ アイユーブ朝はシーア派研究の拠点として、カイロのモスクにアズハル学院を併設した。
- ④ タブリーズに建国したサファヴィー朝はシーア派を奉じ、アッバース1世の下で新都イスファハーンに遷都した。
- ⑤ 19世紀半ばにイランにおこったバーク教はシーア派から生まれた新宗教である。

問3 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

23

- ① カーリミー
- ② ズインミー
- ③ ハディース
- ④ マワーリー
- ⑤ ミスル

問4 下線部(4)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

24

ア：被征服者である異民族からハラージュとジズヤが徴収された。

イ：「啓典の民」はジズヤ支払いが免除された。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問5 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ガズナ
- ② カラハン
- ③ サーマーン
- ④ プワイフ
- ⑤ ホラズム=シャー

問6 下線部(6)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 十字軍以前の11世紀にエルサレムを支配していたのはビザンツ帝国である。
- ② 第1回十字軍が建てたエルサレム王国は、1291年に最後の拠点ダマスクスが陥落して滅亡した。
- ③ 第3回十字軍にはどの国からも王は参加せず、イスラーム勢力との間に巡礼者保護の保障を得て帰還した。
- ④ 第4回十字軍はイタリア勢力の支援を受けて、一時エルサレムの奪回に成功した。
- ⑤ フランス王ルイ9世はアルビジョワ十字軍でカタリ派を制圧し、ルブルックをモンゴルに派遣し、自らも2回にわたって十字軍を率いた。

問7 下線部(7)の王国は15世紀に 王国と統合して、 王国が成立した。
 と の組み合わせとしてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ア：アラゴン イ：スペイン
- ② ア：アラゴン イ：ポルトガル
- ③ ア：グラナダ イ：スペイン
- ④ ア：グラナダ イ：ポルトガル
- ⑤ ア：ナバラ イ：スペイン
- ⑥ ア：ナバラ イ：ポルトガル

問8 下線部(8)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

28

- ① イブン=ルシュド（アヴェロエス）は、アリストテレスの哲学書に注釈を施し、スコラ学に大きな影響を与えた。
- ② 後ウマイヤ朝に登用されたウマル=ハイヤムは、数学・天文学・医学に精通した科学者で、正確な太陽暦を編んだことで知られる。
- ③ イブン=ハルドゥーンは、『大旅行記（三大陸周遊記）』で遊牧民と定住民との関係を中心に、歴史の法則を考察した。
- ④ イブン=シーナー（アヴィケンナ）の著した『神学大全』は、スコラ学の重要課題である普遍論争を収拾した。
- ⑤ 修道士アルクインら一流の知識人がギリシア語文献をラテン語に翻訳し、学芸の復興につとめた。

問9 下線部(9)の人物に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

29

ア：イラン人宰相としてシーア派研究を支援した。

イ：国内の主要都市にニザーミーヤ学院を設立した。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問10 10に入る人物としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

30

- ① ジュチ
- ② チャガタイ
- ③ チンギス=ハン
- ④ バトゥ
- ⑤ フレグ（フラグ）

IV 次のAとBの文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

A 19世紀初頭にエジプト総督に就任したムハンマド=アリーは、在地の 勢力を一掃しつつ、軍制、税制、土地制度の改革や、教育制度の整備、農業や工業の振興など広範な近代化政策を強力に進めた。彼はアラビア半島に起こったワッハーブ運動の鎮圧やギリシア独立戦争への出動の見返りとして、オスマン当局にシリアの領有とエジプト総督位の世襲権を求めたが拒否されたため、二度にわたる戦争を起し、宗主国を軍事的に圧倒した。しかし、イギリスとフランスなどがこれに干渉し、最終的には1840年に締結されたロンドン条約で、総督位の世襲権のみが認められた。

B ロシアが1853年にギリシア正教徒保護の名目でオスマン帝国に宣戦布告したことで、クリミア戦争が勃発した。翌年、イギリスなどがオスマン帝国側に立って参戦し、戦場はクリミア半島の 要塞の攻防に移った。1855年にはサルデーニャ王国も参戦し、この戦争は国際戦争となった。ロシアはオーストリアに支援を要請したが、国内に多数のスラヴ系住民を抱えていたこの帝国は中立を保ち、戦争末期には反撃態勢を取るにいたった。ここにウィーン体制下の反動同盟は解体し、中部ヨーロッパの統一運動に有利な国際情勢がもたらされた。

1855年、ロシア皇帝に が即位すると、新帝はこの戦争の継続を断念し、1856年に で講和会議が開催された。その結果、ワラキア・モルダヴィアすなわちルーマニアが事実上独立を果たしたが、黒海の中立化も定められたことで、ロシアの南下政策はさらに後退することとなった。「クリミアの衝撃」はロシア支配層を危機感に陥れた。

は「上からの改革」、すなわち鉄道の数設や銀行制度の整備などの近代化政策に着手し、1861年には農奴解放令を發布した。それはツァーリズムとロシア特有の農村共同体たるミールを温存させたままでの改革だったため、農民は身分的に自由となったものの、土地は買い取る必要があった。彼らはミール単位で政府から受けた融資を年賦で返済することとなった。改革の矛盾があらわになってきた1870年代、ツァーリズムの打倒を叫ぶナロードニキ運動が展開したが、政府の弾圧と農民の無理解の前に挫折していった。要人テロが横行し、1881年には皇帝 もその凶弾に倒れた。

問1 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ウラマー
- ② スーフィー
- ③ マムルーク
- ④ マンサブダール
- ⑤ ムラート

問2 下線部(2)に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

ア：イブン=アブドゥル=ワッハブがムハンマドの教えに立ちかえれと主張して始まった改革運動である。

イ：アラビア半島の豪族サウード家の軍事的支援を得て広がり、両聖都メッカとメディナを支配するワッハブ王国を建設した。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問3 下線部(3)に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

ア：ギリシアは列強の支持を得ずに独立を達成した。

イ：ギリシアはウィーン体制下の中南米とヨーロッパで、はじめて独立を達成した。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問4 下線部(4)以降のエジプト情勢に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

34

- ① エジプト綿はイギリスの綿織物工業向けの商品作物となり、ヨーロッパ市場に組み込まれていった。
- ② アフガーニーの思想に影響を受けたウラービー運動の後、オスマン帝国がエジプトを保護下に置いた。
- ③ 巨費を投じて建設したスエズ運河の収益により、エジプトの国家財政は健全化した。
- ④ 歴代のエジプト総督はタンジマートと呼ばれる大規模な西欧化改革を進めた。
- ⑤ エジプトはピラミッドの戦いに勝利してオスマン帝国からの自立を果たした。

問5 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

35

- ① アウステルリッツ
- ② アドリアノーブル
- ③ セヴァストーポリ
- ④ ワーテルロー
- ⑤ ワールシュタット

問6 下線部(6)に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

36

ア：クリミア戦争参戦に際し、カヴール首相はナポレオン3世とプロンビエールの密約を結んだ。

イ：ガリバルディが占領した両シチリア王国を併合して、イタリア王国を成立させた。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問7 に入る皇帝としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① アレクサンドル1世
- ② アレクサンドル2世
- ③ エカチェリーナ2世
- ④ ニコライ1世
- ⑤ ピョートル3世

問8 に入る都市としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ウィーン
- ② チューリヒ
- ③ パリ
- ④ ベルリン
- ⑤ ロンドン

問9 下線部(9)に関する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

ア：ロシアはサン=ステファノ条約でこの沿岸地域の国を保護下に置き、南下政策を前進させた。

イ：ボスポラス（ボスフォラス）海峡とジブラルタル海峡を経てエーゲ海とつながっている。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問10 下線部(10)の流れを汲むものとしてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

40

- ① 社会革命党 (社会主義者・革命家党, エス=エル)
- ② 社会民主党
- ③ ボリシェヴィキ
- ④ メンシェヴィキ
- ⑤ 立憲民主党 (カデット)

V 次のA～Cの文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

A 北周の貴族だった李淵は618年に唐王朝を開いた。唐は第3代高宗の時に [1] を服属させて西域を支配し、百済と高句麗を破って朝鮮半島にも進出するなど、ユーラシア大陸東部の大半を支配する帝国となった。唐は、要所に都護府や都督府を置いて住民を間接支配する [2] 政策を辺境地域に展開した。隣接する諸国には、朝貢する国の首長に爵位や官位を与えて君臣関係に取り込み、統治を任せた。こうして東アジアには唐を中心とする東アジア文化圏が形成され、これに西域支配と合わせて漢帝国以来の世界帝国が形成された。⁽³⁾

B 日清戦争後、清から日本への留学生が急増するとともに、清朝の打倒をめざす革命組織が各地で設立された。孫文が創立した興中会などの革命諸派は1905年に [4] で中国同盟会を組織し、三民主義をかかげて梁啓超らの立憲派と救国のための路線をめぐって論争を繰り広げ、知識人にも大きな影響を与えた。そうしたなか、鉄道網整備をすすめていた清が外国借款と外国企業に頼ったことから地方の郷紳などの反発を呼び、特に [5] 省では暴動に発展した。さらに [6] で革命派の影響を受けた新軍が蜂起すると、長江以南の諸省などがつぎつぎに独立を宣言した。これが辛亥革命である。各省は1912年に南京で臨時大総統に孫文を選出し、中華民国の独立を宣言した。

C 毛沢東がソ連におけるスターリン批判と平和共存の動きに反発したことで、中ソ関係は悪化した。⁽⁷⁾ また、毛沢東は1958年から「大躍進」運動を開始した。⁽⁸⁾ 中ソ対立が世界に知れわたるなか、彼は経済の立て直しを図っていた [9] や鄧小平などの改革派に対抗して、1966年にプロレタリア文化大革命という運動を呼び掛け、これを受けて学生や青年からなる紅衛兵による大衆運動が始まった。彼らは党幹部や知識人を迫害し、 [9] や鄧小平も失脚に追い込んだ。しかし、紅衛兵の運動は内紛を続けて一部が先鋭化して統制が取れなくなったため、政府は人民解放軍を投入して弾圧を強めたことで鎮静化した。1976年の毛沢東の死を受けて、文化大革命を主導してきた「四人組」も [10] により逮捕された。

問1 [1] に入る国・勢力としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 [41]

- ① エフタル
- ② 高車
- ③ 柔然
- ④ 吐蕃
- ⑤ 西突厥

問2 に入る語句としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 華夷
- ② 漢化
- ③ 絹馬
- ④ 羈縻
- ⑤ 州県

問3 下線部(3)に関する記述としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 長安にはキリスト教アリウス派・ゾロアスター教・マニ教の寺院も作られた。
- ② 仏教が中国に定着したことで、浄土宗や禅宗など中国独特の宗派が形成された。
- ③ 科挙の導入により儒学も盛んとなり、特に朱子学が重視された。
- ④ 国際交流が活発になったことを受け、仏図澄や鳩摩羅什が中国で活躍した。
- ⑤ 海上交易が盛んとなり揚州や広州などの港町が発展し、朱印船貿易が行われた。

問4 に入る地名としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 広州
- ② 上海
- ③ 東京
- ④ 南京
- ⑤ ホノルル

問5 に入る語としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 湖北
- ② 山東
- ③ 四川
- ④ 浙江
- ⑤ 陝西

問6 に入る地名としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 上海
- ② 重慶
- ③ 天津
- ④ 南京
- ⑤ 武昌

問7 下線部(7)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

ア：スターリンの死後、ソ連共産党第20回大会でフルシチョフ第一書記が、スターリン批判の演説を行った。

イ：平和共存の気運はスターリン批判後さらに強まったが、1961年には東ドイツ政府によってベルリンの壁が築かれた。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問8 下線部(8)に関連する次のア、イの正誤の組合せとしてもっとも適切なものを下の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

ア：「四つの現代化」が実現した。

イ：人民公社を設立し、農村の組織化を進めた。

- ① アもイも正しい。
- ② アのみ正しい。
- ③ イのみ正しい。
- ④ アもイも誤っている。

問9 に入る人物としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 江青
- ② 周恩来
- ③ 蔣介石
- ④ 劉少奇
- ⑤ 林彪

問10 に入る人物としてもっとも適切なものを次のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 華国鋒
- ② 江沢民
- ③ 胡錦濤
- ④ 趙紫陽
- ⑤ 李大釗